

平成30年度 第2回東海村高齢者福祉計画推進委員会議事録

日 時：平成30年10月29日（月）18：30～20：00

場 所：別館101・102会議室

出席者：（委員）薄井委員長，藤澤副委員，土屋委員，並木委員，上条委員，妹尾委員，齋藤委員，宮部委員，船橋委員，三田委員，藤田委員，朝岡委員，深谷委員，鹿志村委員，綿引委員

（事務局）高齢福祉課 清水課長

（介護保険室）：三浦補佐，鈴木係長

（高齢支援）：坂本主任看護師，大杉

（地域包括）：藤田補佐，石橋係長，三瓶係長

福祉総務課：渡辺係長

健康増進課：大内係長

欠席者：（委員） 松本委員，小野寺委員

配付資料：（事前配付）

資料1 第7期高齢者福祉・介護保険事業計画の推進と進行管理について

資料1 補足資料

資料2 第7期計画事業進行管理票（施策目標1・2関係）

（当日配付）

平成30年度健康づくり講演会 若い世代に増えている糖尿病チラシ

1 開会 事務局：三浦

2 高齢福祉課長挨拶 清水課長

本日はお忙しい中，お集まりいただきましてありがとうございます。

委員の皆様には，日頃から高齢福祉分野に御支援と御協力を賜りまして，この場をお借りして御礼申し上げます。

高齢福祉事業につきましては今年度からの3ヵ年計画となる「第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」に基づきまして「地域包括ケアシステムの促進」，「地域共生社会の実現」を目的としながら「介護予防活動の推進」，「高齢者を取り巻く関係者が連携する体制づくり」，「認知症予防」等の施策に取り組んでおります。2025年問題と言われるとおり，2025年には人口の1／4が75歳以上の高齢者になることが予想されており，7年後にせまっています。今後は国や村の情勢を踏まえて，今の事業を進めながら中長期的な視点で検討して参りたいと思います。

本日は上半期の事業実績について委員に皆さまから忌憚のない御意見をいただきたいと考えておりますので，どうぞよろしくお願いいたします。

3 委員長挨拶 薄井委員長

みなさんこんばんは。高齢者福祉計画については3ヵ年の計画ですが，なかなか最初

はわからない、慣れないところがあると思います。施策は46個あり、もちろん全部御理解いただければよいのですが、それぞれ御自分のプロフェッショナルリティをお持ちですので、せめて自分の関りの強い施策については色々意見を言っていただいて、毎回一言は御発言いただけるよう、今後の委員会の運営に御協力いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

4 議 題 議事進行：薄井委員長

事務局) 順番が後になってしまいましたが、本日は松本委員と、小野寺委員が欠席となっております。委員の過半数が出席しておりますので成立ということで進めさせていただきます。ここからは委員長に司会進行をお願いいたします。

委員長) 初回の会議は村からの説明が多く、十分に時間が取れなかった関係から、本日は第2回目ではありますが、初めに改めて各委員の業務や活動等を含めた自己紹介をお願いしたいと思います。時間の関係上1人2分程度ということで事務局から説明がありましたので、よろしくお願いいたします。

～各委員自己紹介～

委員長) ありがとうございました。では、議題の1番について事務局から説明をお願いします。

(1) 計画の進行管理について

〔説明概要〕事務局：大杉

資料1、資料1 補足資料、資料2を使用し説明。

7期計画では目標値と方針を明記し、計画達成に向け毎年度PDCAサイクルをきちんと回していくことにしたので、その具体的な進行管理方法について事務局案を説明。

スケジュールは資料1の右下のとおり。資料2「事業進行管理票」を使用し、まず事務局で各事業の評価・コメントを実施、その後各委員から評価・コメントをもらい、最終的に委員会として評価や次年度への改善点をまとめる。

委員から全ての事業ひとつひとつにコメントを頂くのは大変と思われるので、村と評価が異なる場合や特に御意見がある部分についてコメントをいただく考え。

また、評価は「計画通り実施できた」、「概ね計画通り実施できた」、「計画通り実施できなかった」という基準で判断する予定。

<質疑応答・意見>

委員長) 補足しますと、3年の総まとめは3年目にやりますが、1年ごとに計画、実施、評価、見直しという一連の流れを行うということです。それを3年やって、最終年度には総括もやるということです。特に委員の皆様にはご自身の関りの強い部分にコメントをいただきたいと思います。最終的に委員会として総括するわけですが、皆さんからどのくらいの量の意見をもらえるかわからないので、このスケジュールで3月にきちんと総括できるのかは微妙なところかと思いますが、事務局の案としてはこのとおりということです。

委員長) 評価のやり方等について何か御意見はありませんか。

委員) 事務局からは2月に報告と評価を見込みでいただくとのことですが、時間的に短い気がします。また、予算や人員配置についてその時期にはもう決まっていると思うのですが、その辺りはどうでしょうか。例えば12～1月くらいに事務局の報告や見込み評価をいただくということはいかがですか。

委員長) 今の御意見ですと、PDCAのAの部分をもう少し前倒しにしてはどうかということですね。早めに進めた方が良いという点はごもっともだと思いますが、1月だと実績等が出し切れない懸念がありますし、事務局の取り扱いも間に合わないように思いますが、いかがでしょうか。

事務局) 村の予算は今時期から概算要求ということで始まって、3月に議会の承認を得て最終的に確定します。予算に関しても、この場で御意見をいただくことはできますが、実際反映させるというのは難しいと思っています。

事務局) 予算は2月にはほぼ固まりますので、決められた予算の中で各事業をどれだけ良くしていくかという話にもなってしまうと思います。

委員長) 各事業について御意見はいただきたいが、予算的な面で反映させるというのはなかなか難しいということですね。ということは、予算の都合上何月までに評価ということではなく、年に一度きちんと評価するのが良いかもしれないですね。

委員長) 2月でぎりぎり実績が出せないものは少し評価を遅らせるということで、一応大体このスケジュールで良いでしょうか。他に何か御意見はございますか。

そうしましたら、PDCAは1年に一度回して3年目には年度の総括を行うといことでよろしいでしょうか。細かい話になると3年目の年度の総括と3年間の全体の総括はどう切り分けるのかという話はでてくると思いますが。

また、評価の方法としても事務局の評価を出して、委員からも評価をいただいて最終的に委員会の評価・意見を集約するという方法でよろしいでしょうか。何かご意見はございますか。

委員) 事業進行管理表についてですが、事務局評価というのは村で自己評価とコメントをして、その後私たち委員が第三者の立場で評価やコメントをするということでしょうか。

事務局) そのようなイメージです。

委員長) 他に御意見はございますか。なければ事務局案で一度決めさせていただき、3年間必ずこのスタイルで継続していくというところまで決定するのは難しいと思います。実際やってみて委員の皆さんからたくさん意見をいただければ集約に時間がかかるでしょうし、委員同士の意見が対立した時には委員会としてまとめるために議論も必要でしょうから。現時点では概ね事務局案のとおりとして、細かいことについてはまた見直していくということでしょうか。

委員) 異議なし

委員長) それでは、次の議題に移ります。

(2) 上半期における事業の進捗状況の報告と下半期に向けた意見聴取

〔説明概要〕

資料2 進行管理表を使用し、重点項目について各担当から説明を実施

<質疑応答・意見>

委員長) 御質問、御意見いかがでしょうか。

委員) 今の報告を受けて、重点項目のうち現時点で目標値の半分にも届かない事

業がかなり多いという印象を受けました。おそらく PDCA が初めての試みなので、本年度は目標に届かないというものがあってもやむを得ないのかもしれませんが。私の職場の経験だと、最初に作った計画値は途中で下方修正はできないと思います。このため、数値的に目標値をどうクリアするというところで後半動くものが多いのかと思いますが、その点はどうお考えでしょうか。

委員長) 具体的にどの事業・施策というのはございますか。

委員) 1つ、2つであれば良いのかもしれませんが、計画全体で見たときに半分以上満たしていないという累積も多いという印象です。事務局の説明を聞いて、当初の予定とは違う諸事情があったのもわかりましたが、計画値を立てるという意味は、そういった事情があっても実績で達成していくということが大切だと思います。

委員長) 7期計画では目標値を明確化して、それが達成できたかできないかということが重点項目にした理由ですから、委員のおっしゃられたことはごもっともで、半年経過すれば半分進んでいるべきと思います。事務局はこういった点も意識しながら、年度末で帳尻合わせにならないような形で適切に進行いただきたいと思います。

委員長) 事業進行管理表の見方ですが、今年度の「取組内容」に対して「中間実績」を記載するのであれば、掲げた取組内容に対して実際どうだったかを記載すべきだと思います。例えば2番の「シルバーリハビリ体操の推進」の取組内容で「近隣住民に対して更なる参加者の周知を行います。」「集客力のあるスーパー等での実演を検討します。」というのであれば、実際に周知を実施したか実施しなかったか等を中間実績に記載すべきです。「10月に実施予定です。」ということまでは記載すべきではなく、現時点で実施していなければ実績はゼロとするのが適切だと思います。

特に目標値を掲げている重点項目について実績の欄に記載すべき内容の取り違えが多い印象を受けました。

なぜこのような話をしたかということ、このままだと2~3月の実績報告の時にも同じような状況が発生してしまうと感じたからです。平成30年度の取組内容に「〇〇を実施します」記載したら、それを実際にやったのかやらなかったのかを記載してもらわないと我々も評価ができません。特に重点項目でないものについては数値が出てこないこともあり、当初の取組内容を実施したのかしなかったのかをきちんと記載してもらおうよう配慮していただきたいと思います。

他に御意見ございますか。

委員) 計画の時点で示されてものなのですが、資料1の左下の部分で、DからCに向けて「課題を明確にする」という記載がありますが、本来課題を明確にするのはCheckを受けたAの部分になると思います。今日が中間評価的な位置付けになると思いますので、今委員長からご指摘のあったことが今後の下半期の取り組みになっていくと思いますので、前半やって後半はそれを踏まえてやっていくということで、それぞれの事業が実現できるようにしていただければという期待しておりますので、よろしくお願いいたします。

委員長) 期待ということですので、事務局のみなさんよろしくお願いいたします。それ

ではその他に入りたいと思います

(3) その他

①「健康づくり講演会」について

事務局) 皆様お疲れ様です。11月14日の世界糖尿病デーに合わせて、「若い世代に増えている糖尿病」というテーマで健康づくり講演会を企画しました。11月22日に総合福祉センター多目的ホールで開催します。薄井委員長に御協力いただき、あらゆる世代に糖尿病について考えていただく機会を提供したく企画しましたので、御都合のよろしい方は御参加をお願いします。

②「救急電話相談ダイヤル」について

委員長) 茨城県の医師会の取り組みですが、「茨城おとな救急電話相談」と「茨城子ども救急電話相談」ということでそれぞれ番号があります。夜間や休日も含め、急な病気に関する相談などにご利用ください。

緊急の場合はもちろん救急車を呼んでいただければと思いますが、そうでなければこの番号を利用していただければと思います。

事務局) その他については以上です。

委員長) では、今日の議題は全て終わりましたので、事務局にお返しします。

事務局) 本日は長時間に渡りありがとうございました。次回の委員会は12月から1月頃に開催させていただきたいと思います。せっかくの委員会の場ですので、委員の皆様からもPRをしたいイベントのチラシ等があれば配付できますので事務局におっしゃっていただければと思います。本日はありがとうございました。

5 閉会